

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	臨時職員雇用				
担当部署・課長名	職員	課	人事給与	係	課長名 矢吹 勇一

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	行 - 2	-
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現	総合計画書 (ページ)	122	

予算名	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 1	一般管理費	事業 2	人事管理事務費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-------	------	---------

1 この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。 臨時職員の配置を希望する課	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標） 課の数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 臨時職員が適正に配置され、円滑かつ効率的に事務執行がなされている。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標） 臨時職員を雇用した課
	③ そのために何をしましたか。 臨時職員を採用し配置する。 ※採用者を選考した上で、雇用に関する起案処理を行い、辞令を作成・交付する。	→	③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標） 臨時職員の雇用者数（年度当初）

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
2 指標の推移	対象指標	①の数値	課	42	42	42	/
	成果指標	②の数値	課	36	36	36	/
	目 標	②の目標値					
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値	人	487	433	426	/	

3 経費	事業費（実績）		円	437,897,360	396,357,871	413,071,491	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。（退職手当組合負担金、共済費も含む。）
	財源	一般財源	円	437,897,360	396,357,871	413,071,491	
		特定財源	円	0	0	0	
		（うち受益者負担）	円	0	0	0	
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2	0.2	
		所要人数(再任用)	人				
	職員人件費(再任用以外)	円	1,650,600	1,650,600	1,648,800		
	職員人件費(再任用)	円					
	事業費+人件費	円	439,547,960	398,008,471	414,720,291		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4 環境変化	この仕事の開始時期（開始年度）、何を目的に開始していますか。 開始時期については不明であるが、従前より実施している。正職員が減少する中、行政運営を円滑に担っていくために開始している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 仕事量の増加、欠員への対応に伴い、毎年度相当数の臨時職員を雇用している。マイナンバーの収集等、新たな事務も発生している。

仕事の内容	臨時職員雇用					
担当部署・課長名	職員	課	人事給与	係	課長名	矢吹 勇一

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について					
	臨時職員の賃金の引上げを始めとした処遇改善について、市議会でも取り上げられてる。					
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）					
	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）			
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容					
	地方公務員法の改正に伴い、平成32年度から、臨時・非常勤職員に関する制度の改正が予定されている。					
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。					
	新制度である会計年度任用職員制度導入に向けて、国・都及び他市の動向を調査するとともに、制度設計を検討した。					
8 今後の方向性	(3)(2)を踏まえた今後の課題					
	制度設計を進めていく中で、報酬単価、期末手当、休暇制度の運用など様々な課題が出てきている。					
	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 東京都の基準を参考にし、また、他市と連絡調整を行い制度設計を進める。					
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 組織、予算等、関係課と連携のうえ調整し、制度設計を進めると共に、現在臨時・非常勤職員として勤務している方に対する周知を並行して実施していく。					
(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。						
成果	成果を維持する。				経費	仕事の経費は維持する。